

令和 8 年度（2026） 地域おこし協力隊 募集のご案内

上勝町／受入れ組織：有限会社 環境とまちづくり 活動名：かみかつユネスコ MAB（BR）

の申請可能性活動を介した持続可能な地域づくり活動の展開 情報サイト：<https://windows-reply-vid.craft.me/YAZnMJGedEJpF1>

学べる3つ
のスキル

合意形成・話し合いのスキル
自然体験活動のスキル
AI・GISのスキル



■ 募集概要

- ▶ 募集人員：1名
- ▶ 活動期間：令和8年度（2026）から3ヶ年

■ 対象者イメージ

- ・本活動に興味・関心があり、協働コーディネーター、地域・個人マネタイズに意欲がある方
- ・基礎的なコミュニケーションスキルおよびデジタルスキルをお持ちの方
- ・学歴不問（技術士・修士・博士号取得者も歓迎）

■ 受入れ組織

有限会社 環境とまちづくり（2001 設立）

代表：澤田俊明

住所：上勝町大字福原字川北 30 番地

電話：0885-44-6290

メール：et_kmkt@kkcatv.jp

■ 受入れ組織・担当者（澤田俊明）

■ 専門分野：合意形成・協働形成、景観・地域デザイン、自然体験活動、政策提案

■ 資格等：技術士（建設部門：都市及び地方計画）、博士（工学）／NEAL 主任講師、CONE リスクマネージャー講師・トレーナー／徳島大学客員教授

■ ユネスコ MAB 活用会議・プロジェクトマネージャー／（特非）郷の元気・代表理事、徳島県景観アドバイザー、都市環境デザイン会議四国幹事



■ 協力隊：活動の目的

ユネスコ MAB（生物圏保存地域：BR）への上勝町の登録可能性にかかるとの一連の取組を展開し、活動で得られた成果を持続可能な地域づくりに還元することを目的とします。

MAB キーワード：環境の保全・活用・教育

■ 協力隊：3つの活動（柱）専門的協働コーディネートの仕事！

活動 1 ユネスコ MAB（BR）登録推進に向けた基盤整備

- ・ユネスコ MAB(BR)・自然共生サイトの情報収集と推進
- ・可能性検討のワークショップ、勉強会等の開催
- ・登録推進に向けた検討、活動予算獲得の申請活動

活動 2 保全・活用・教育活動の実践と展開（地域資源の価値創造）

- 企業 CSR・CSV 連携によるサステナブルな仕組みづくり：上勝版「1社1村運動」のモデル展開による継続的な関係人口創出
- 先進事例に学ぶ地域活性化とブランド強化：綾町や梶原町等の知見を活かした既存取組の「たな卸」ブラッシュアップ

活動 3 OJT 等を活用した社会技術・自然体験技術・先端技術の習得・実践とマネタイズ

- OJT 方式による社会技術・自然体験技術・先端技術の習得・実践
- 先端技術（AI・GIS）の活用推進
- 習得技術の活用による継続のための地域・協力隊個人のマネタイズ企画・実践

■ 募集・決定の時期（目安）

- ・募集期間：2026 年 6 月 5 日～随時
- ・決定時期の目安：2026 年 8 月 31 日まで
早期決定、期間延長の場合があります。

■ お申込み：下記上勝町サイトより

<https://www.kamikatsu.jp/docs/2025041500041/>

■ 活動 3：AI・GIS の利用予定のサービス

Claude, Gemini, Perplexity, Canva, Notion, Craft / QGIS (3D 立体地図 DEM1)

※活動の中で随時習得できます。

■ 今回の地域おこし協力隊募集の特徴

- ① 世界水準の舞台で、地域づくりの最前線に立っているユネスコ MAB（生物圏保存地域）への登録を目指す、国内でも先駆的な取組に携わります。国連の枠組みを活用した「環境の保全・活用・教育」の実践は、全国どこにもない経験です。
- ② 即戦力スキルを、現場の OJT で確実に身につけられる 合意形成・協働コーディネーター（社会技術）、NEAL・CONE（自然体験技術）、AI・GIS（先端技術）の 3 つのスキルを実践の中で習得。資格取得も支援し、活動後のキャリアに直結します。
- ③ 「稼げる地域づくり」を一緒につくる 関係人口創出や企業研修など、地域と協力隊個人の両方が継続的に収益を得られる仕組みづくりに挑戦します。「やりがいだけでは続かない」という現実に向き合い、マネタイズまで考えます。